

わたしから始める、世界が変わる

# Hunger Zero News

2021. 9  
No.374

ハンガーゼロ・ニュース

1分間に17人 (内12人が子ども)  
1日に2万5,000人が  
1年間では約1,000万人が  
飢えのために生命を失っています

## Contents

コロナ感染爆発で飢餓人口増加 P. 2

エチオピア・ティグレ緊急支援報告 P. 3

2020年世界食料デー募金使途報告 P.4-5  
2021年食料デー大会の開催情報

ボリビア駐在小西スタッフ連載⑩ P.6

2022年版 地球家族カレンダー完成! P.7

写真: エチオピア (2022年版 地球家族カレンダー)

コロナ禍での支援を続けるお母さん  
祈りながら頑張るお母さんたち

# コロナ感染爆発で飢餓人口増加

## アフリカでの栄養不足が2倍に

**世界食料デー**(10月16日)を迎えるに当たって、改めてSDGsの2番目の目標である「**飢餓をゼロに**」について考えましょう。



国連は、2020年に世界の飢餓状況が劇的に悪化したと発表しました。その主な原因は、新型コロナウイルスの影響であると考えられています。コロナの影響はまだ完全には把握できていませんが、複数の機関の報告書によると、昨年世界人口の10人に1人にあたる最大8億1,100万人が飢餓に苦しんでいたと推定されています。

その半数以上はアジアに、3分の1以上はアフリカに暮らす人々です。飢餓が最も急増したのはアフリカで、栄養不足蔓延率は他の地域の2倍以上になっています。

他の指標においても、2020年は厳しい結果となりました。重度の食料不安を抱えている人は9億2,800万人(世界人口の12%)で、前年より1億4,800万人増えました。また、23億7,000万人(3人に1人)は適切な食事(必要な栄養素を満たす食事)を摂ることができず、これはたった1年で3億2,000万人の増加となっています。健康的な食事は高くつき貧しい人々にとっては手が届かないものであ

り、30億人が健康的な食事をする経済的な余裕がないとされます。

栄養不良は特に子どもへの影響が深刻です。2020年には、1億4,900万人の5歳未満児が発育阻害(年齢に対し身長が低すぎる)、4,500万人以上が消耗症(身長に対し痩せすぎている)、また3,900万人近くが過体重(栄養バランスの偏り)であると推定されています。

食料不安や栄養不良の主な要因は、紛争、気候変動、経済危機(コロナで更に悪化)などです。これらは今後も続くと考えられ、2030年までに栄養に関する指標の目標は世界的にみて何一つ達成できそうにありません。

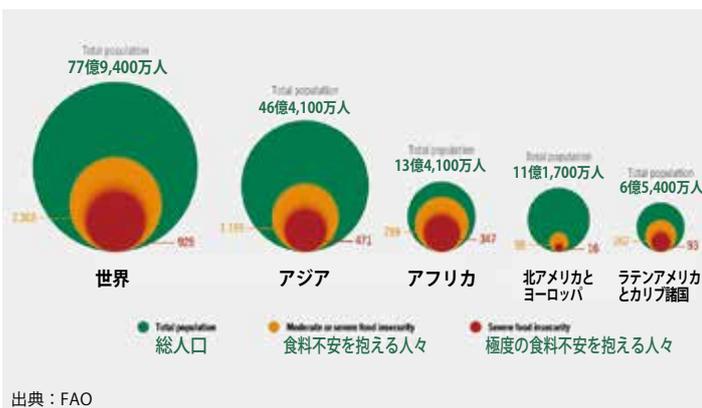
同じ国連の報告書では、フードシステム(食料の生産から流通・消費までの一連の流れ)の変革に向けて、6つの経路(紛争、気候、経済、サプライチェーン、貧困、食事パターン)を特定し、飢餓の増加やあらゆる形の栄養不良の背後にある要因に対処するための提言を行っています。また、変革を実現するために、政策立案者には、広く意見を聞くこと、女性や若者の後押しをすること、データや新技術の利用可能性を拡大することを求めています。そして何よりも、世界が今すぐ行動を起こすことを訴えています。

ハンガーゼロは、フードシステムの変革や安全な環境すなわち紛争の解決が求められるだけでなく、工業先進国に暮らす私たちが、途上国の人々の暮らしと私たちの生活の仕方に密接な関係があることに目を向け、自分さえ良ければという考えを変革すること、そして行動を起こすことが求められると考えます。

少しでも飢餓に苦しむ人々を支援し励まし続けることができれば、人々が自分の力で飢餓を克服できる希望が生まれ、SDGsの2番目の目標実現にむけて前進することができます。このことがハンガーゼロの願いでもあります。

資料:「世界の食料安全保障と栄養の現状・SOFI2021」

5つの国連機関 (FAO、IFAD、UNICEF、WFP、WHO) が共同で制作



備蓄をしながら社会貢献



世界にパンを届けよう

**救缶鳥**  
Kyu-Can-Cho

皆様から回収された救缶鳥は各地に飛んでいきました!



食料が不足している、国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、海外の飢餓地域等へ送られました。



おいしさとお届けします。

株式会社パン・アキモト

パンの缶詰  
since 1995

〒329-3147

栃木県那須塩原市東小屋295-4

TEL 0287-65-3351

パン・アキモト 検索



## 報告 エチオピア・ティグレ州国内避難民 緊急支援

本誌5月号で呼びかけを致しましたエチオピア緊急募金に皆さまから2,122,332円のご支援をいただき感謝申し上げます。ティグレ州の州都メケレから5kmのところにあるセバカレ4の国内避難民キャンプの設立に携わっているハンガーゼロの現地パートナー、FHエチオピア並びにFH緊急援助チームからの報告です。(2021年6月30日現在)

FHエチオピアはトイレ・シャワー設備、貯水タンクの設置などを重点的に行っています。セバカレ4は19,000人収容の国内避難民キャンプですが、開設前に110のシャワーと110のトイレの工事を完成させ、1万リットルの貯水タンク4つと蛇口スタンドの設置を済ませました。援助活動は、開設後の数週間に亘って続く予定です。

紛争が続くこの地域では、性的暴行が報告されており、女性や女兒が安全に施設を利用できるようにするため、シャワーとトイレの設備を性別毎に分けて設置しました。



FHはまた、寡婦、孤児、女性が世帯主の家庭などの危機的状況に置かれている人々の必要の支援に焦点を当て、食料や日用品の配給にあたって優先してきました。

### 全人的なアプローチで取り組むFH

ティグレ州におけるFHの働きは、セバカレ4キャンプの開設以前からここ3年間に亘って続けられてきました。コミュニティ開発においても災害援助においても、FHは全人的なアプローチをとっており、ティグレ州において

現在行われている事業ならびに計画には、56万人以上を対象とした食料援助、シェルターや水関連の日用品の配給、種や肥料の配給、リプロダクティブ・ヘルス、ジェンダー(社会的性差)に基づく暴力への対応と予防、女性や女兒への心理社会的サポートなどの働きが含まれています。

しかし、輸送路が破壊されたことで、人道支援の提供、治安、地域住民の基本的サービスや物資へのアクセスならびに生計の維持に深刻な影響が出ています。またティグレ州全域で、電気や携帯電話のネットワークが切られていて情報収集も困難な状況です。

◆緊急募金の受付は6月末をもって終了させていただきました。皆様の応援を感謝申し上げます。ハンガーゼロでは、支援地での活動のために「ハンガーゼロサポーター」を募集中です。支援は月1千円からです。ぜひ応援をよろしくお願いいたします。

オクダデザインプロジェクト 施工例  
デザイナーズアパートメント

Okuda DESIGN PROJECT

貸したい時も、借りたい時も。不動産賃貸のご相談は—  
インターネットでお部屋探し。  
[www.okuda-re.co.jp](http://www.okuda-re.co.jp)

代表取締役社長 奥田 英男  
〒197-0003 東京都福生市熊川 447-9

042(552)0102(代)

総合不動産 有限会社オクダ商事  
総合建設 オクダ建設株式会社

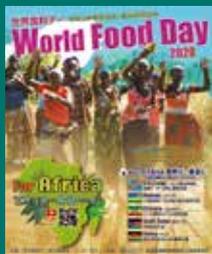


### コロナ感染から守る「緊急救援募金」に応援をお願いします

募金は、郵便振替又はウェブサイトからクレジットカード決済が利用できます。  
ウェブサイト <https://www.jifh.org> ※ハンガーゼロで検索又は右QRコードから  
郵便振替 00170-9-68590 日本国際飢餓対策機構 ※記入欄に「緊急救援募金」と明記  
募金集計：2021年7月末日現在で約1,083万円、皆さまの応援を心より感謝いたします。



スマホから募金ページに



2020年の世界食料デーはコロナ禍でも協力者の皆さまが工夫を凝らして取り組んでくださり、1,978万円の募金が寄せられました。心から感謝を申し上げます。ここに頂いた募金の使途を報告させていただきます。



# アフリカの人々



## コンゴ民主共和国 【827万円】 地域リーダー育成、農業支援

ハンガーゼロは、現地パートナーのハンズ・オブ・ラブ・コンゴ (HOLC) と協力して、上カタンガ州プウェト地区の6つの村で、元国内避難民と村人の共同農園の取り組みを支援しています。

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、管轄の地方自治体から厳しい規制がかけられました。内容は、大勢で一緒に作業をしてはいけない、ソーシャルディスタンスを守る、マスクを着用するなど、日々農作業に従事する住民の日常とはかけ離れたものでした。そのため、それを守りつつ農作業を続けることは、プウェトの住民にとって大変な困難を伴いました。また、大量の降雨により小さな橋が流されてしまい、農園まで通うのにも時間と労力がかかるようになりました。そんな中で柔軟な考え方と勇気を持って黙々と責任を果たしている住民リーダーの姿に触発され、プロジェクトに参加している住民たちも懸命に農作業を継続して、6つの村合計で約26,000坪の農地でピーナッツやとうもろこし等を栽培し、自分たちの手で生活を維持しました。(今秋の食料デー等で帰国したジェロムスタッフが詳しく報告します)



ハンガーゼロ  
活動地の  
ウイズコロナ

来シーズンのために種を採る作業をしました。プロジェクトで意識が変革され、将来に希望を持つようになると、全員自主的に家庭菜園を作り主食以外の野菜も育ちました。



## エチオピア連邦民主共和国 【304万円】 エイズ孤児などへの食料支援

ハンガーゼロは、現地パートナーのFH エチオピアと協力して、アムハラ州南ゴンダール地区の3つの村で、エイズ孤児などな状況に置かれている子どもたちとその保護者を対象に教育、生計、女性のエンパワメント(権限移譲)など明るい未来を拓くための総合的な支援を実施しています。

プロジェクトも最終段階に進んできたため、参加者が資源の適切な管理を学ぶことができるように、食料支援の形態を食料配給から現金給付に変更しました。対象の子どもたち1人につき毎月330ブル(約840円)の現行のシステムを使って保護者に渡しています。調査によれば現金の90%が食料関係の購入に用いられています。



## ルワンダ民主共和国 【307万円】 持続可能な小規模農業への支援

ハンガーゼロは、現地パートナーのFH ルワンダと協力して、東部州ニャギハンガ地区で小規模農家100戸を対象に、土壌を改善して収量を上げる持続可能な農業プロジェクトを推進してきました。

新型コロナウイルスの影響で、トレーニングや貯蓄グループ活動など人が集まる活動が制限され、予定していた活動に多少の遅れが生じたものの、農業活動はほぼ予定通りに進められ、主食のメイズは予想を大幅に上回る収穫を得ることができました。プロジェクトの参加者は各自700kgのメイズを持ち帰り、家庭で消費すると共に



## 南スーダン共和国 【93万円】 学校給食支援

ハンガーゼロは、現地パートナーのライフ・イン・アクション (LIA) と協力して、レイク州ルンベックのマブイ小学校で学校給食支援を実施しています。

新型コロナウイルスの影響で2020年3月から学校が閉鎖され、子どもたちはラジオを通して勉強をしていましたが、2020年10月に8年生を対象に一部開校されました。しかしながら、給食の再開は難しく、代わりに生徒450人の家庭を対象に食料配給を実施。マブイ小学校に登録されている生徒1人に対して主食と調味料10kg、調理油5リットルを配給しました。





# 皆様への応援を感謝します

トに参加  
った参加  
てるよう



## ケニア共和国 【272万円】 食生活安定のための農業支援

ハンガーゼロは、現地パートナーのFH ケニアと協力して、メルー州、ブウリ地区のカイルニ小学校で学校農園プロジェクトを実施しています。

地球温暖化の影響で農作物の収穫量が安定せず、地域の農家は食料の安定確保が極めて困難となりました。そこへカイルニ小学校から、生徒の栄養状態を改善するために学校農園を設立して給食を充実させたいと、土地提供の申し出がありました。水の確保に問題がなかったため、ケニア政府が推進している気候変動対応保全農業(CSCA)を取り入れたモデル農園をカイルニ小学校に設立し、地域の農家に学ぶ機会を提供するという計画が立てられました。



農園は設立そのものよりも、その後の維持管理の方がはるかに重要なため、最初の3カ月を掛けて、責任者となるリーダーたちの組織形成を丁寧に行いました。政府の農業普及員の協力もあり、リーダーたちは農園のビジョンをしっかりと持つことができました。

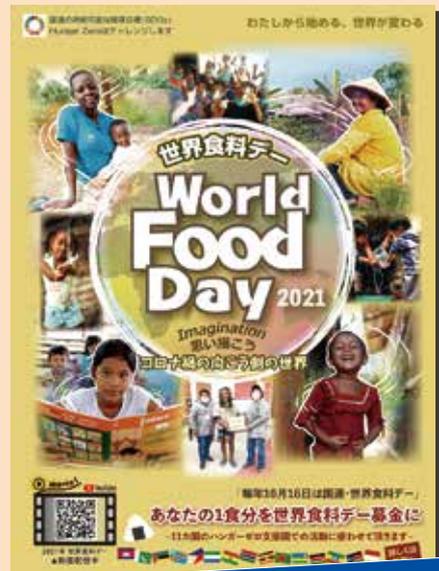
その後、実際の農園作りに着手し、囲いの設置、水源から水を引くためのパイプの設置、貯水池の造成、苗床作り、果樹や樹木の植樹などの活動を行いました。学校農園委員たちはナマズの養殖のトレーニングを受講し、造成した魚の養殖池にナマズの幼魚を入れました。トマト、玉ねぎなどの高価値作物の定植を進める一方、ケール、ほうれん草、唐辛子など様々な作物を植え付け、土地の生育環境に合う作物を見極めるための実験をしています。学校農園が軌道に乗れば、保護者が学校給食に必要な食材を提供する義務を果たせるようになることが期待されています。

| 2020年WFD募金総額 19,782,149円 ※以下は使途の内訳 | 円          |
|------------------------------------|------------|
| コンゴ民主共和国                           | 8,270,000  |
| ルワンダ民主共和国                          | 3,070,000  |
| エチオピア連邦民主共和国                       | 3,040,000  |
| 南スーダン共和国                           | 930,000    |
| ケニア共和国                             | 2,720,000  |
| 事務経費（講演者旅費・教材作成費等）                 | 430,220    |
| チラシなど印刷関係費用                        | 1,321,929  |
| 計                                  | 19,782,149 |

ンダンス  
学校給食



しました。  
るソルガ



## いよいよ2021年世界食料デー

大会参加で支援グループで家族で個人で応援の輪を広げよう!



2021年 世界食料デー  
▲動画配信中

| 大会                          | 開催日・期間                      |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 仙台                          | 10月16日(土)                   |
| 千葉北                         | 10月23日(土)                   |
| Tokyo WFD+Gospel            | 11月20日(土)                   |
| 横浜                          | 10月17日~11月21日<br>オンライン配信・ほか |
| 滋賀                          | 10/16(土) オンライン公開            |
| 京都                          | 10月10日(日)                   |
| 東大阪                         | 調整中                         |
| 芦屋                          | 10月17日(日)                   |
| 沖縄南部                        | 10月10日(日)                   |
| 沖縄北部                        | 10月15日(金)                   |
| 沖縄中部                        | 10月17日(日)                   |
| 沖縄久米島                       | 調整中                         |
| 沖縄宮古                        | 11月14日(日)                   |
| 高校生による世界食料デー<br>プレゼンテーション大会 | 10月24日(日) 高校限定              |

小規模会場・対象者限定などの形で実施予定  
札幌、浜松、名古屋、南大阪、八尾河南、宝塚、奈良北、奈良南、広島、柳井、関門、鹿児島  
開催検討中の大会（4会場）  
北大阪、@きりたん、和歌山、須崎

上記は2021年8月19日現在のものです。  
変更される場合もあります。本紙次号や  
ホームページで最新情報をお知らせします。



※前回から続く（ホームページでご覧になれます）

2ヵ月半の日本一時帰国後、今年2月19日に私がボリビアに到着して2週間もたたないうちに、愛するボリビア人の親友と上司を、その1ヵ月後に日本人の友人をたて続けに天に送るといっても悲しい出来事がありました。

### 親友と上司との突然の別れ…

3月2日、私と同年の親友であり私をこれまで幾度も励まし助けてくれたボリビア人国内宣教師のジュディさんが、長距離バスの事故(崖から転落)で突然天に召されました。チャパレ地域への夜行バスの旅の途中、バスが夜中に崖から転落。乗客45人のうち21人が死亡し、乗車していた何人もの大学生や教師も亡くなりました。ジュディさんは右のこめかみと胸部に打撲があったものの、とても平安な顔をして眠るように亡くなっていたとのこと。真夜中だった為に深い睡眠状態のまま、きっと本人もわからないうちに即死したのだらうと思われます。殆ど苦しむことなく無意識のうちに天に召されたことが、彼女のご遺族、そして友人の私たちにとっても大きな慰めでした。

またFHB(※)コチャバンバ事務所代表者かつ私の上司であったルベンさんは新型コロナに感染してICUでの治療中に3月4日天に召され、FHB職員全員が、特に私たちコチャバンバの者たちは言葉にならない程大きなショックと悲しみに襲われました。

## 変わるものと 変わらないもの



ボリビア多民族国  
駐在 小西小百合



49歳という若さでした。彼は20年以上も神様と最も必要を覚える方たちの為に働いてきました。数年前に彼が私の直接の上司になり、彼が上司になってくれて本当に良かったと思える、とても尊敬できる人でした。

そしてサンタクルス県在住の8歳年下の日本人クリスチャンの友人、<sup>ほかも</sup>外間利香さんが4月1日に心臓発作で天に召されました。彼女は今まで何度も Dengue 熱にかかり、特に昨年从去年から数ヵ月間は新型コロナに感染して苦しみ、やっと回復してきた矢先だったのです。今回の罹患で身体がかなり弱っていたことが心臓発作の一因になったのではないかと私は想像しています。彼らとの別れはとても寂しいです。しかし彼らは皆、精一杯地上の生涯を走り抜けられました。そして今は痛みや苦しみ、悲しみもなく天国の神様のふとこで憩っていて、いつの日か天国で彼らと再会できる事が、残された私たちの大きな希望と慰めです。

### 生かされているからこそ

これらの、ボリビアへ戻ってからも大切な方たちを立て続けに突然天に送った事の意味を、私は今考えています。神様が全てをご支配され、私たちには理解できない事が起こる時もそれには意味があるという事も知っています。彼らは地上で託された使命を全うされたので、神様はご自分のみもとに引き上げられたのでしょう。そして私が今なお生かされているという事は、私が地上でやるべき事がまだ残っているという事に他なりません。これからは変わらず神様に信頼し、コロナ感染予防に留意しつつ、今自分が成すべき事を着実に進めながら歩いて行こうと思っています。

※ FHB= 国際飢餓対策機構ボリビア



ハンガーゼロ協力企業  
キングダムビジネスから

## 2022年カレンダーが完成!!

毎年多くのご利用を頂いております地球家族カレンダーの2022年版は、便利な書き込みスペースを若干ですが広げました。毎月の写真は支援地域の環境や生活の一コマを取り上げ、そこに暮らす人々や将来を担う子どもたちが、毎日飢えることなく食べ、安全で平和に暮らし、元気に遊び、学ぶことができるようにとの願いを込めて作成いたしました。A4サイズ(掲示時はA3サイズ 高420mm×巾297mm)。尚、販売収益の一部がハンガーゼロの活動に用いられます。

**【価格】** 1冊 1,100円(税、送料込)国内へのお届けに限ります。  
※4冊までは郵便、レターパックで送料込みでお届け。(沖縄・北海道も含む)  
※5冊以上は宅配便で送料込みでお届け。但し、北海道と沖縄は1梱包につき800円をご負担いただきます。

**【お支払い】** 後払い

**【お申し込み】** (株)キングダムビジネスで検索

スマホはQRコードから

電話：06-6755-4877

FAX：06-6755-4888でも承ります。

※数に限りがあります。お早めにお求めください。



最新の飢餓状況がわかる世界地図やハンガーゼロの活動・支援案内もあります



贈り物としても最適です。(写真：裏表紙)

9月1日は「防災の日」



緊急時の保存食「救世鳥」も発売中!



僕たちのLINEスタンプが、なんとなんと、キングダムビジネスから販売されているよ。  
「ジェロムさんと世界のたべものたち」で検索♪

◁ コンゴ民主共和国から来たジェロムさん、主食のウガリちゃん、ウガリの原料メイズ(とうもろこし)くん。



スタンプはこちらから▶

あたしから始める



ロングライフタウン 寝屋川公園 フィレンツェの丘

私たちロングライフグループは、ハンガーゼロの活動を応援しています。

ロングライフは1986年の創業よりケアサービスひと筋。全国に展開しています。

Health & Natural Beauty  
ロングライフグループ  
Resort & ZONE LongLife  
0120-550-294  
受付時間 9:00~18:00 年中無休  
大阪本社/〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階 東京本社/〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階  
ロングライフグループ拠点: 北海道/埼玉/東京/神奈川/千葉/静岡/愛知/大阪/兵庫/京都/大分/沖縄/中国(青島)/韓国/インドネシア(ジャカルタ)



ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18か国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころとからだの飢餓」に応える活動をしています。



### 小堀親善大使

#### アンサンブルメゾンを結成

ハンガーゼロ親善大使の小堀英郎氏(ピアニスト)が、このほど音楽家4名で「アンサンブルメゾン」を結成されました。小堀氏は、キリストの香りを奏でる音楽

家団体「ユオーディア」の関西支部リーダーであり、このアンサンブルも同支部所属のメンバーで結成されました。編成は2台のマリンバとチェロ・ピアノで、クラシックや賛美歌などをオリジナル編曲し、多種多様な音楽プログラムを実現しています。

アンサンブルメゾンは、小堀氏が実行委員長を務める「ユオーディア音楽祭・大阪2021」(9月23日・チケット完売)に出演されるほか、「世界食料デー京都大会」(10月10日開催)の音楽ゲストとしても演奏されます。小堀氏は親善大使として音楽活動を通じて当機構を応援して下さっており、今後もユオーディアや同メゾンとの協力が期待されます。

公式HP▶<https://www.kobori2002.jp>



### やわらか生地の刺繍ポーチ バングラデシュから

バングラデシュの貧しい地域に暮らす女性の自立支援を目的としたフェアトレード商品。色、デザインは、おまかせで1,500円。簡易包装でポストへお届け。

ハンガーゼロ会員は1,200円でお届けします。申込時に会員番号をお知らせください。

サイズ:巾15cm×高さ10cm×まち6cm  
素材 本体:綿 ファスナー:ナイロン

### 【お支払い】

後払い

お申し込み:

(株)キングダムビジネス

スマートフォンは上記QRコードから  
電話注文:06-6755-4877

FAX注文:06-6755-4888



### 各種手続きにお時間を いただいております

当機構各事務所ではコロナウイルスの感染対策として、一部テレワークを継続しています。支援者様への電話対応・領収証の発行・支援申し込み手続きなどで、通常よりお時間をいただいております。ご理解のほどお願い申し上げます。急ぎのご用件は、お電話でご相談ください。(事務局)

## Hunger Zeroの

SNS ソーシャル  
ネットワーキング  
サービス

詳しくは  
▼こちら▼



国際協力に参加する活動の第1歩目として... YouTubeのチャンネル登録や各種SNSのフォローをお願いします!

※記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたします。

## サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

|       |   |   |           |
|-------|---|---|-----------|
| 氏名    |   |   |           |
| (TEL) |   |   |           |
| 住所    | 〒 |   |           |
| 申込日   | 年 | 月 | 日 NL 374号 |

|                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 下記から希望されるものをお申し込みください  |
| <input type="checkbox"/>            | ハンガーゼロサポーターとして協力します。<br>①毎月( )円 □(1000円)<br>②一時募金として 円協力します。 |
| <input type="checkbox"/>            | 継続募金(JIFH サポーター)として協力します。<br>毎月( )円 □(500円)                  |
| <input type="checkbox"/>            | チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。                  |
| <input type="checkbox"/>            | 郵便自動引落し申込書を送って下さい。   |
| <input type="checkbox"/>            | その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。                                       |

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在...5081口

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構

ハンガーゼロで検索!

Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>  
eメールアドレス [general@jifh.org](mailto:general@jifh.org)  
フェイスブック facebookでハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト  
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構  
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1  
TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155  
東京(広島) 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室  
TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782  
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル6F  
TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132  
沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メゾンク米202号  
TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216  
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa  
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605  
TEL(510)568-4939 FAX(510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター